Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：ごみ問題と３R・循環型社会形成 ILAS Seminar :Waste Management Issues and Material Cycles Society Developments by 3R Strategy of Reduce, Reuse and Recycling	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Agency for Health, Safety and Environment Professor,SAKAI SHINICHI Agency for Health, Safety and Environment Professor,HIRAI YASUHIRO Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,ASARI MISUZU Agency for Health, Safety and Environment Associate Professor,YANO JUNYA		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Number of weekly time blocks	1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester	Quota (Freshman)	10 (10)
Target year	1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Mon.5
Classroom	013, Research Bldg. No. 2 (Main Campus)			Language of instruction	Japanese
Keyword	循環型社会 / ごみ問題 / リサイクル / 資源循環 / 環境				

[Overview and purpose of the course]

「ごみ」は、世界中の人間、誰もが出して生きていると言っても過言ではないでしょう。しかし、我々（少なくとも一般市民の方々）は、どれだけ、「ごみ」のことを知っているでしょう？このゼミでは、ごみ（廃棄物）や廃棄物問題を科学的に捉えると同時に、その解決に向けた「３R」（リデュース・リユース・リサイクル）の考え方、それらを通じて実現しようとする「循環型社会」に関して、知見を深めることを目的とします。

循環型社会の形成は、世界の環境や資源の持続性から考えて、温暖化・気候変動対策とともに、２１世紀の一大テーマとなりつつあります。具体的には、海洋プラスチック問題や食品ロス問題は、喫緊の課題となってきました。循環型社会が求められる背景としての廃棄物問題の現状を知り、循環型社会への処方箋を考えることは、持続可能な社会構築に向けた必須事項と言えるでしょう。

[Course objectives]

循環型社会形成と廃棄物管理に関する幅広い知識をゼミ担当者やその研究室所属の大学院生から獲得するとともに、環境関連資料の原著論文を自らの力量で読解し、独自の提案ができる力を身に着けることを目標とします。

[Course schedule and contents)]

◆ごみに関する基礎的知見（初回～３回目程度）

まず、授業担当者からの序論により、廃棄物問題の構造と循環型社会形成への方向性を理解します。

◆ごみの科学や政策へ（４回目程度以降～１４回目）

そのうえで、さまざまなリサイクル技術や廃棄物処理方法について調査し、循環型社会形成に向けた視点からの考察を加えることとします。なお、今後の環境問題や廃棄物問題の世界の動向を理解する入口として、極力、英文に触れることのできる教材を選択する予定です。

◆フィードバック（１５回目）

◆４名の教員の役割と授業の進め方

Continue to ILASセミナー：ごみ問題と３R・循環型社会形成(2)↓↓↓

ILASセミナー ：ごみ問題と３Ｒ・循環型社会形成(2)

本科目の授業開講時（月曜５限）には、原則として４名の教員が出席し、基礎的知見の提供や課題の考察の方向性について助言します。また、具体的な調査内容は、人数やテーマ、関心に応じて、個人作業やグループワークとします。授業担当の教員とともに先輩のゼミ生が作業（パソコンやソフト等の利用から文献検索、発表資料作成の方法まで）の支援も行います。

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

レポート課題を課し、その報告レジュメとプレゼンテーションにより評価します。平常点としての出席と参加の状況も考慮します。レポート課題と平常点の評価はほぼ１対１の予定です。

[Textbooks]

Not used
必要に応じて研究論文等を配布します。

[References, etc.]

（References, etc.）
Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

物質循環に関連する原著論文を読解することや関連した復習に取り組むことをお奨めします。

[Other information (office hours, etc.)]

授業の主たる担当者は、京都大学の環境や廃棄物の管理に携わっている環境科学センターの教員です。学内実務に関わりながら、社会システム研究を進めていますので、その研究室活動にも参加可能となるよう配慮します。